

SDGsの実践プロジェクト ～放置竹林問題を考える～ 参加学生募集！

こんな人にオススメ！

- ✓ 環境問題に興味がある
- ✓ 地域課題の解決に関心がある
- ✓ 現場に出て実践的に取り組みたい



この授業は、地域の資源を活用しながら環境問題の解決を目指す地域循環共生圏の考え方に立脚して、**SDGsのうち環境問題**に関する課題に実践的に取り組む授業です。今年度は、①題材として、**放置竹林問題**に取り組みます。②神戸市北区大沢町をフィールドとして、大沢町の放置竹林対策に参加し、地域課題について学びます。③そして大学内、学外の事業者や周辺地域で竹を活用する方法を企画し、実践します。④最後に、年間の活動記録を報告書にまとめます。

申込期間： **4月5日(火)～4月20日(水)**

4月12日(火)、13日(水)、14日(木)

事前説明会： 時間：お昼休み 12:20～12:50

場所：地域連携センター（KOREC）



募集人数： **15名程度**（応募多数の場合は申込の記述をみて選考します）※原則、全てのプログラムに参加できることが条件です

定例ミーティング： 隔週 木曜日 4限目（予定）

応募方法： QRコードを読み取り、または
リンク先から（<https://forms.office.com/r/CTbLxTsiT0>）
申込フォームに必要事項を記入して送信してください。
（※Office365へのログインが必要です）



【お問合せ】 地域連携センター（KOREC） 担当：家村
MAIL： korec@ml.konan-u.ac.jp
TEL：078-435-2276（月～金 9:00～17:00）



主なプログラム

授業（ミーティング）の頻度は月に2回程度で、現地活動とあわせて年間15回の開催を目安とします。それにプラスして、企画の実践に取り組みます。放置竹林問題に取り組む学生の自主的な活動（BamboolにThank youプロジェクト）は、本授業の枠外となります。時間をかけて取り組みたい人向けのプログラムです。

4月下旬	（プログラム開始） オリエンテーション：自己紹介や役割分担、今後の予定について
5月	レクチャー SDGsについて、地域循環共生圏の考え方について、放置竹林問題について学ぶ
6～7月	企画立案 レクチャーや学習したことを踏まえ、年間の活動目標の設定、関係者・地域へのヒアリング調査、企画立案を行う
10～12月	企画の実践 企画の実践のための打ち合わせと実施
現地活動	放置竹林対策の現場 神戸市北区大沢町をフィールドとする。放置竹林問題と関連する地域課題を知る。放置竹林対策に参加する。
2月	報告書の作成と振り返り

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、現地活動などに制約が生じる可能性、プログラムもオンライン（Zoom）での実施に切り替える可能性があります。



放置された竹林は棚田を侵食してしまうんだって



竹炭は土壌改良剤にも使えるよ

